

# 『下げ振りの心』 常にまっすぐな気持ちで 仕事をする。



株式会社鍛冶田工務店  
代表取締役社長 鍛冶田八彦さん



1921年（大正10年）に奈良県御所市で創業した株式会社鍛冶田工務店。マンションなどの大規模建設工事の施工実績が増え、業績を伸ばしています。“100年企業”としての理念、社員育成の心得、地域貢献への思いなどを、鍛冶田八彦社長にうかがいました。

## 100年成長し続ける企業

鍛冶田工務店は1921年に御所市で創業してから100年間、業績が伸び続けています。私が入社した頃は、仕事の7割が奈良県の公共建築で、なかでも学校校舎の建築は数多く施工させていただきました。

大阪に進出したのが1964年（昭和39年）で、民間工事の施工を強化しました。やがて公共工事が従来の半分程度になった時に、当社は既に民間工事に強く、競争力があつたので業績を伸ばしていくことができました。名古屋、東京にも進出して、業績を伸ばしています。

当社は今、マンション建設に強みを持っています。100億円規模のマンション工事も当社単体で施工いたしますし、タワーマンションなども施工させていただけるようになってきました。

なぜ、100年成長し続ける企業であるのか。私は、お客様に企業理念を買っていただいているからだと思っています。当社の社訓は『下げ振りの心』と言います。「下げ振り」は建設現場で垂直を見る道具です。つまり、どこから見てもまっすぐな心で仕事をする、ということです。

今日も全国で当社の現場が60カ所ほど動いていま

す。各現場に所長がいて、多くの作業員がいます。現場では時に失敗もします。そんな時、「他人のせいにはしない」「言い訳しない」「自らの失敗は自ら正しく戻す」の姿勢が大切です。

「職人さんが間違えた」とか、「協力会社が間違えた」とか、そんな声が聞こえてきた時は、厳しく注意してきました。今、当社で言い訳をする人は一人もいません。そう自信を持って言えます。

## 鍛冶田工務店の若手人材育成法

社員一人ひとりをプロ化して、現場で施工図や必要書類を作成し、経理も予算も理解している、そのようなゼネラリストを育てるとするのが当社の人材育成方針です。

そのため、当社では入社後1年間は研修です。従来は研修3カ月の後に現場に出て、現場の所長が新人を指導していました。しかしそうすると成長に差が出てしまい、また、知識がないまま現場に出ると不安が大きいため、知識をある程度つけてから現場に出られるようにしました。

1年目、2年目、3年目と段階を踏んで目標を決めて学んでもらいます。資格取得も大事なので、若手には仕事が終わってから勉強する時間が取れるような働き方をしてもらっています。そのようにして様々なスキルを身につけた人材が、20代後半で現場所長としてデビューできることも、当社の特徴の一つです。

また、お客様の話を聞いて、「工事関係のことはわからないので会社に持ち帰って検討します…」そんな営業



御所実業高校都市工学科の生徒を対象に2級土木施工管理技士補（国家資格）のチャレンジを応援している。

2級土木施工管理技士補（国家資格）のチャレンジを終えた生徒たちに感想などをヒアリング。

青翔中学・高校で社員3人が進路ガイダンス「はたらく一建設業」の講師を務めた。

ではなく、技術にも明るい営業が行くと、直接話ができる、即答することができます。そうではない営業はどのようにしてお客様のお役に立てるのかを考える必要があります。そうしないと、選ばれる企業、選ばれる人にはなれないということも社員に言い続けています。

## 新入社員研修1年間のメリット【低離職率】

当社は、1年間に及ぶ新入社員研修において、新入社員同士のつながりを醸成し、また施工図研修・現場実務研修をはじめ2級建築士の資格取得など様々な研修カリキュラムを準備しています。1年後の配属時には、従来の短期間での研修より、安心して働くことができます。建設業界における3年以内の離職率は約3割と言われていますが、当社における同離職率は近年では1割未満です。



新人研修

## 創業地・御所市へ、地域貢献の思い

鍛冶田工務店は御所市で生まれ、御所市に育てられました。2021年（令和3年）に当社創業100周年を迎えるにあたり、2020年（令和2年）、地域に貢献することをやろうと、“ひとづくりからまちづくりにつながる”を理念に「一般財団法人つなぐ」を設立しました。

具体的な取り組みとして、御所市にある2つの県立高校との関わりがあります。ラグビーの強豪校として知られる御所実業高校と、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）の青翔高校です。

御所実業高校では2級土木施工管理技士補（国家資格）取得を目指す学習支援を行っています。1年目（2021年度）は21人受験して、7人が合格しました。2年目は28人受験して、合格者は残念ながら2人でしたが、3年目以降も続けていく予定です。

また、遠方から入学するラグビー部員もいます。御所

市に当社の社員寮があり、その部屋を借りられないかとラグビー部から打診を受けました。「もちろんいいですよ」と快諾しました。現在ラグビー部員約50人が入寮しています。来年度は70人程に増える予定です。



御所実業高校ラグビー部寮

青翔高校では高い進学率の背景に、学習におけるPDCAサイクルが有効に回っていることがわかりました。どのような生徒を育てるかという目標に対して取り組むべきことが明確なのです。企業もそうでなければと感じました。

校長先生から「何のために勉強しているのか、社員の方に話をしてほしい」と依頼され、2021年12月、青翔中学・高校の生徒に向けて、当社社員3人が「はたらく一建設業」というテーマで話をしました。生徒達からの評判も良く、ある女子生徒から「建築の道に進みたいけれど、女性が活躍する場所や機会はあるのかと悩んでいたけれど、話を聞いて、希望がわきました」との声がありました。

今後、御所市内で当社が作業している現場の見学も計画しています。このような取り組みは全国でも増えていると思いますので、積極的に取り組むことが重要だと考えています。

## 会社 Data

### 株式会社鍛冶田工務店

1921年に奈良県御所町（現御所市）で「鍛冶田組」として創業。総合建設会社として発展し、奈良と大阪を拠点に受注高は1989年度に100億円、2004年度に200億円を突破。名古屋と東京も拠点に加え、2021年度に受注高400億円に到達した。大阪本社（本店）、奈良本社、東京支店、名古屋支店を持ち、社員数は355名（2023年2月24日現在）。



所在地：  
大阪本社（本店）  
〒541-0044 大阪市中央区伏見町3-2-6  
TEL：06-4707-1351  
奈良本社  
〒639-2216 奈良県御所市150-3  
TEL：0745-65-2131  
URL：https://www.kajita.co.jp/

## 働き方を最適化する各種制度を導入 “おたがいさま”の気持ちで、働きやすい環境づくりに成功

令和3年度 社員・シャイン表彰企業（総合表彰）

株式会社マスオ総合事務管理センター

部長 牛尾 成子さん  
和田 真佳さん  
西村 麻衣さん  
イ・ミヤツ・トゥエさん

### 奈良県社員・シャイン職場づくり推進事業

働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる事業者を登録し、優れた取り組みを情報発信することで県内事業所の人材確保や生産性向上を促進する、平成19年度創設の制度。

年1回、登録企業の中から、特に優れた取り組みを行う企業の表彰を行う。

### 働きやすさを引き出す各種制度を導入

**牛尾** 当社はマスオグループの事務委託管理のほか、仕事と家庭の両立を目指した各種制度や勤務形態の導入をコツコツと進めてきました。

まず「育児・介護休暇」を2018年に導入しました。グループ各社で要介護者を抱える社員が増えてきて、苦勞されているということで導入し、私自身も利用させてもらいました。

**和田** 今後、私も親を介護する必要が出てくるかもしれません。介護休暇制度があると、有給休暇を残しておく必要はなく、不安は少ないですね。

**牛尾** 次に「マタニティー有給休暇・パートナー出産休暇制度」を導入しました。このような制度を作ったきっかけは、これまでグループ会社で出産を機に退職される方を見てきました。妊娠しても気軽に休みが取れるようにしたかったからです。ほかに、「在宅勤務制度」「フレックスタイム制」もあります。これらの制度は、定時



出退勤によって、生活に困難なことが出てしまう社員を何とか助けたいとの思いから導入しました。

**西村** 私はフレックスタイム制を利用しています。通常勤務時間は8時半～17時半ですが、8時～17時で勤務しています。新型コロナがきっかけで、時差通勤をしていましたが、緊急事態宣言が落ち着いたから「8時からの勤務を続けたい」と牛尾さんに伝えたところ、フレックスタイム制を検討していただきました。以来ずっと8時～17時勤務です。30分違うだけで、電車のピークを行きも帰りも避けられるので、体の負担がかなり軽減されます。30分長く帰宅後の時間を確保できるのは、とってもありがたいです。

**和田** 働きやすくなったし、みんなの満足度は高いと思います。フレックスタイム制で僕自身、家庭で過ごす時間を有意義に使えるようになりました。自分の心に余裕ができる分、仕事へのハリも出てきます。

**牛尾** 各制度の導入前と比べると、短時間で集中して、質のいい仕事をしてくれています。いかに短い時間で、無駄なく、確実に、失敗しないようにするためにはどうしたらいいのか。みんなが工夫してやってくれています。このような環境は採用力の強化にもつながります。

### 新たな事業展開も

**牛尾** 当社の生産性も上がってきたので、新規事業をやるということ、外国人人材紹介事業を2022年10月から始めました。そのためにトゥエさんを採用しました。英語もできるので、就業規則を英訳してくれたり、外国人の面接で通訳をしてくれたり、大活躍しています。

**トゥエ** 私はミャンマー出身です。フレックスタイム制などは使ったことがないですが、わからないことがあると、誰に聞いても答えてくれるのでありがたいです。不安のない職場でよかったです。

**牛尾** 外国人紹介事業があるため、トゥエさんには入社して半年経たないうちに、カンボジアとミャンマーに出張してもらいました。ミャンマーのお国事情で、いったん入国すると、簡単に出国できないため、トゥエさんも2週間、出国許可を待ちました。その間、仕事ができないという不安があったようですが、給料を引いたりしませんよ、と伝えると、安心してくれました。



増尾朗社長（前列左から2人目）、牛尾部長（前列左端）ら社員のみなさん

また、2022年に、カンボジアのバタンバン大学（工科大学）に日本語教育を行う「マスオ学園」を設立しました。約80名の学生がおり、そこで日本語を学び、技術を身につけてもらいたいと思っています。

### 社員・シャイン総合表彰を受けて

**牛尾** 表彰の応募のきっかけになったのは、「えるぼしマーク」を取得できたことでした。「正社員に占める女性労働者の割合が産業ごとの平均値以上」（平均値26.7%に対し、マスオ総合事務管理センターは80%）など、5つの指標をすべてクリアしなければならないので、取得は難しいと考えていましたが、2021年11月に3つ星（最高ランク）を取得できました。さらに、社員・シャイン表彰企業の総合表彰を受けたことで、使命感や責任感を強く感じているところです。

**和田** えるぼしも、社員・シャイン表彰も、会社としての自信になりますし、自分たちの会社の価値が上がったと捉えています。

**牛尾** 今後、えるぼしマークなどをグループ内で広げていく際に、当社がいい見本になれたらいいなと思います。そして、今まで私たちがやってきたことを整理して、グループ全体をいい環境にしていくことが私たちの役目だと思っています。

**和田** 困っていることを抱えたまましているとストレスになります。ストレスを感じながら仕事をすると、その人もしんどいですし、周りもしんどいかもしれない。それをできるだけなくしていくことが、いい職場づくりになっていくのではと思います。

**牛尾** 制度利用や休暇取得がしやすい職場にするには、“お互い様”の気持ちを持つことが大事だと思います。

**西村** 私の場合、17時にパッと帰ることができています。当初は早く帰るのに、抵抗感がありましたが、17時までということを理解していただいている環境がありがたいです。

**牛尾** 休暇を取ったり、制度を使う方が優遇されているという不満が出てきちゃうと、せっかくの制度もうまく進みません。そんな事にならない様に、私としては「あなたもいずれ介護等で特別休暇が必要になる時が来るかも知れないよね」と周りの人々に理解を求めるように声をかけています。また、こういう諸制度があることで、会社をやめないといけないのかなという気持ちにさせない効果もあるように思います。

次は、出産や育児などを終えた人の職場復帰制度の導入を検討しています。元の職務で復帰してくれると、会社のメリットも大きいと考えています。

### 会社 Data

#### 株式会社マスオ総合事務管理センター

安政元年（1854年）創業の株式会社砂糖増尾商店をはじめ、マスオグループ（株式会社奈良自動車学校、マスオ商事）の事務受託管理等の事業を担う。2022年10月から外国人人材紹介事業も開始。2021年11月に女性の活躍推進に関する取り組みが優良な企業を厚生労働省が認定する「えるぼしマーク」の3つ星（最高ランク）を取得した。



所在地：〒630-8013  
奈良市三条大路1丁目1-93  
代表取締役：増尾 朗  
業務内容：事務受託管理業  
従業員：13名（女性10名、男性3名）  
※2023年2月末現在  
TEL：0742-34-3000

# 事業継続のために人材を確保したい。 リクルート動画を制作し、採用に成功。 「会社の先々の展望が開けてきました」

「専門家派遣」活用事例  
株式会社水野設備  
専務取締役 水野 大輔さん

## 専門家派遣

中小企業・小規模事業者等に社会保険労務士等の専門家を派遣し、若年者採用・従業員の定着・スキルアップ・職場環境の見直し等に関するアドバイスを行う。平成29年度より始まった支援事業。

2021年度に専門家派遣を受けた水野設備（宇陀市）は、喫緊の課題であった人材採用を展開し、実務経験者2名の採用に至りました。

## 取り組みの内容と成果について教えてください。

専門家の方と一緒に進めたのは、社員インタビューの動画を制作して採用活動を行うことでした。テーマとして「働き方改革」があったのですが、当社の最重要課題は採用であると相談し、社員インタビュー動画を作りたいという思いを伝え、2021年6月から2022年3月まで取り組みました。最初にやるべきことを決め、2回目に社長ヒアリングを行いました。3回目に動画を撮影し、最後に総括を行い、2022年4月に動画を公開しました。

公開初月は100viewくらいあり、結果的に2名の方（40代の実務経験者）を採用できました。2人ともホームページと動画、SNSも見たうえで応募してくれて、採用まで至りました。動画も応募に必要なコンテンツになり、作っておいて本当によかったです。

インタビューに出演した社員は20代2人と30代1人です。インタビューを受けることから、真剣に答えようとしていましたし、仕事のやりがいや将来の目標などについて考えることで、それぞれが自分自身を見つめ直す機会になり、とてもいい経験になったと思います。

他の社員も動画を見て、会社の活動に関心を持ったり、刺激や、モチベーションになったり、そういう面でも効果があったと感じています。

## 取り組みを採用活動に絞ったのはなぜでしょうか？

私は2020年まで別の業界で仕事をしており、2021年に家業を継ぐために当社に入りました。会社のロゴや看板、ホームページを新しくし、SNSも始めました。



次に具体的な採用活動をするにあたり、動画を作りたいと考えていたときに、この事業のチラシを見て応募しました。

当社の事情をお話すると、父が社長として当社を経営しており、60代半ばです。社員も半数が60代半ば以上のベテランです。私だけが跡を継いでも、ベテラン社員の方々が引退すると、会社としては事業継続が困難になってしまいます。

また、会社の将来を考えると、若手中堅もベテランもいるというのが極めて健全な状態ですし、若手が入社すると組織の活性化にもつながります。ですから、5年先、10年先を見据えて、現在の事業を継続していくための人材採用が必要だと考えていました。

建設業界は慢性的な人材不足です。さらに宇陀市という地域では、様々な取り組みを行わなければ、採用がうまくいきません。いかに情報を発信するかで差別化を図るしかないと思っていました。そんなにお金もかけられないので、専門家派遣事業はとて



もありがたかったです。

水野大輔専務取締役

## 他に専門家の方と取り組まれたことはありますか？

専門家の方からは、求人の募集要項についてもご意見をいただきました。具体的には、給与体系を2種類作って、休日や給与額を明確にして選べるようにしました。現社員にも選択してもらいました。従来どおりでいい人もいましたが、若手は給与が若干減るけれど休日が増える方を選ぶ傾向にありました。2つの給与体系は採用条件でも明示しました。

また、専門家派遣事業に応募する以前のことで、これまでは顧客情報や工事履歴などあらゆる情報がデータ化されていませんでした。情報の見える化・蓄積をしていかないといけないことはわかっていたので、顧客管理のシステムを早々に導入しました。

クラウドのシステムなので、外出先でもスマホで見ることができるため、残業や時間の無駄が減り、まさに働き方改革の生産性の向上につながっています。そういう話を専門家の方にすると、情報の見える化はぜひ引き続きやっておいた方がいいと言ってくれました。やっていることが間違っていないと心強く感じました。

## 今後に向けて現在どのような課題がありますか？

社員数は2名増えて現在12名になりましたが、業績は横ばいです。未経験者も採用しているので、育てるのに時間がかかりますし、人員を増やしたからといって、すぐに売り上げが増えるわけではありません。

人件費が増えている今この一時は、経営的に踏ん張り時です。これを乗り越えないと、事業継続もできないと思っていますし、私が経営を引き継ぐまでに、現在取り

組んでいることをいかに定着させられるかも課題です。

また、当社の周囲でも後継ぎがない事業者が少なくありません。競合他社が淘汰されていくなか、きちんと事業継続を行い、生き残ることができれば、残存者利益を得ることができます。そうすると、自ずと先の展望が開いていくのではないかと思います。

## 専門家派遣事業に参加していかがでしたか？

採用に関して、これまでは人を選べるほど募集がありませんでした。採用活動がひと段落しても、今働いている社員が退職するリスクは絶えずあるので、いい人がいれば採用を考えるという、選べるポジションを取れつつあります。これもこの事業に参加して得られた成果のひとつだと思っています。

そして何より、無料でこうした支援をしてくださるのは非常に魅力的でした。また、私のように後継ぎとして当社に入ってきた身としては、第三者の方の支援がとても心強かったです。

## 会社 Data

### 株式会社水野設備

1957年創業。事業内容は水道・水回りの修理をはじめ、新築・リフォーム、古民家改修など、水道設備工事・管工事・土工工事・建築工事と幅広い。



所在地：〒633-0245  
奈良県宇陀市榛原笠間2182  
従業員：12名（2023年1月31日現在）  
TEL：0745-82-0406  
FAX：0745-82-6678  
URL：https://mizunoseisui.jp/



## 訓練＋実習＋体験を経て ものづくりの業界へ 「ここで長く頑張りたい」

令和3年度訓練修了生  
株式会社 M.T.C  
門田 博彦さん

### 株式会社 M.T.C

「ものづくりは 人づくり 夢づくり」を社訓とし、鉄・ステンレスの加工品を製造。経済産業省「地域未来牽引企業」認定（令和2年）。

所在地：〒635-0076  
奈良県大和高田市大字大谷 126-2  
TEL：0745-22-1410



森久次社長（左）と門田さん

### 門田さんの働きぶりはいかがですか？

**森久次社長** 体験入社するときから真面目な方だなと感じていました。一生懸命に仕事を覚えようとする姿勢もあります。「門田さんを採用しますか？」と社内で話したら、満場一致で賛成でした。仕事でもコミュニケーション面でも優秀ですよ。

### 仕事のやりがいと今後の目標を教えてください。

ミスなく数をこなせたときにやりがいを感じます。同じ作業を集中してやっているの、続けていくうちにコツを覚えて、こなす数が増え、正確な商品を出せるようになってきました。自分でも手ごたえを感じていて、仕事を終えて帰宅してから晩酌することが幸せだと思えるようになりました。

今はまだ具体的な目標はありませんが、一つでも多く作業を覚えて、仕事を任せてもらえるようになっていきたいと思います。ここで長く頑張りたいという気持ちです。

#### Profile



### 門田 博彦（もんだ ひろひこ）

社会福祉法人ぶろぼのでの就労訓練プログラム等を修了後、職業訓練等を経て、2022年3月入社。複数の部品を接合する“かしめ”の準備作業や研磨機に部材を出し入れする作業を担当。「集中して仕事をしてくれているので安心」と会社からの信頼を得ている。仕事後、自宅で飲むビールが楽しみ。

## 働きながら研修と実習。 憧れていた仕事に就く 道が開けました。

令和4年度雇用予定型リカレント教育事業修了生  
株式会社丸国林業  
仲井 綾音さん



ECサイトについて検討する（右から）平越國康社長、仲井さん、営業部久野俊輔さん

### 株式会社丸国林業

木材をはじめ全ての建材及び住宅機器、インテリア関連商品の調達・販売から建築工事まで、快適な住まいづくりをプロデュースしている。

所在地：〒639-0224  
奈良県香芝市別所 5  
TEL：0745-77-8431

### 当事業に参加した動機と入社の際の経緯を教えてください。

参加前の約1年は就職活動しており、母からリカレント教育事業のことを聞きました。WEBやデザイン関連の仕事に憧れがありましたが、勉強が必要だと考えていました。今回の事業には「WEBサイト作成コース」があり、私のように未経験でも研修を受けて知識を習得しながら、正規採用を目指せるということで、私の希望にぴったりだと思って応募しました。

早く仕事を見つけたいという気持ちがありましたので、オンライン研修1ヶ月と職場実習2ヶ月の計3ヶ月間を意欲的に取り組むことができました。約1年のブランクがありましたので、きちんと働けるか不安でしたが、周りの方々に優しくしていただき、居心地も良くて、是非ここで働きたいと思うようになり、その願いが叶って良かったと思っています。

私の職場研修が始まった同日に会社のECサイトが開設されました。研修中も現在も、商品写真を掲載したり、商品説明文を作成したり、注文につながる工夫を考えたり、ECサイトに関わる業務を幅広く行っています。注文が入った商品の梱包や発送準備もやっています。

#### Profile



### 仲井 綾音（なかい あやね）

会計事務所勤務などを経て、求職中に奈良県雇用予定型リカレント教育事業へ参加。2022年10月オンライン研修、11～12月職場実習を行い、2023年1月に丸国林業に正規雇用入社。住宅設備機器などを販売するECサイトショップの運営を任されている。



**平越國康社長** 当社としてもECサイトを立ち上げるのに、人材が欲しいと考えていたところでした。リカレント教育事業の内容・タイミングがとてもよく、参加するメリットが大きいと考えました。仲井さんは求めていた人材に合致していました。

### オンライン研修や職場実習はいかがでしたか？

オンライン研修は自宅受講しました。しっかりやらないといけないんじゃないかという不安はあったのですが、オンラインで参加者全員が集まって話す機会が毎日何度かあり、時間のけじめをつけながらきちんと取り組むことができました。

研修・実習の期間は1週間に1回、事業の担当者との面談があり、悩み事を聞いていただいたり、アドバイスをいただいたり、今後に向けての相談をしたり、気軽に話ができる状況でした。

### 仕事のやりがいと今後の目標を教えてください。

私にしかできない業務もあり、責任とやりがいを感じています。目標としては、安定して注文をいただき、売り上げに貢献できるECサイトに育てたいです。そしていずれは自分でホームページをデザインできるように、技術を磨いていきたいと思っています。

### この事業に参加していかがでしたか？

参加して自分の道が開けたと思いますし、私の希望にすごくマッチした事業でした。参加できた縁に感謝しています。やってみなかった仕事を本当にできていることがすごく不思議な感じがして、過去の自分に「ちゃんとやっているよ」と言いたいです。



## 初挑戦の再生可能エネルギー職種で快挙 金メダルの誇りを胸に後進育成の道へ

### 金メダルまでの道のりを教えてください。

技能五輪に挑戦したいと思ったのは、入社した2017年の研修中に国際大会に出場した先輩が表彰台で国旗を振っている映像を見たことがきっかけでした。全国大会には、電気職種で2018、2019、2020年に出場し、2019年に銅メダルを取りました。



2021年は奈良支店で現場業務をしていましたが、その年に上海で開催予定だった国際大会がコロナの影響で中止になりました。2022年に特別開催されることになり、京都で行われた再生可能エネルギー職種に出場するチャンスが巡ってきました。

再生可能エネルギー職種は国際大会初実施で、私は太陽光も風力も無知の状態、何をやっていいのかわからない状態からのスタートでした。開催までの約10カ月でしっかりと訓練をして、知識と技術を詰め込みました。

競技は、太陽光パネルの設置や風力発電モデル装置の運用、不具合を見つけて直す作業、メンテナンス作業、英文レポート作成、風力発電と太陽光発電の設計…などがあり、4日間計17時間で行われました。

結果発表で「金」に自分の名前が出て、テンションがあがりました。手ごたえはありましたが、やり切った感が大きくて、表彰台では「無」の気持ちでした。

### 技能五輪に取り組んだことでどのようなことが身についたと感じていますか。

全国大会に3回出場した後、これからは現場でバリバリとやっていこうという気持ちでしたが、どこかで技能五輪っておもしろいなと思っていました。国際大会が1年延期で特別開催されたことで、出場のチャンスが巡ってきました。めったにできない経験なので、自分の成長につながる機会になったと思います。

選手の時は大会のことしか頭になかったのですが、終わってみると、たくさんの方に応援してもらい、支えてもらっていたんだと強く感じるようになりました。特に指導員の方に支えられてきたので、私も後輩を支えていきたいと思っています。

### これからの目標を教えてください。

現在、当社の人材育成を担う「きんでん学園」で指導員をしています。金メダルを取ったときにしか味わえないものを、後輩たちにも経験してほしいので、指導に力を入れていきたいと思っています。

指導するには、知識や技術を正確に理解しておかないときちんと伝えられないので、自分の技能を見直す機会にもなります。また、海外の出場者とのつながりもできたので、技能五輪国際大会を盛り上げていけるように、今後も携わっていけたらいいなと考えています。

#### Profile



#### 柳 翔大 (やなぎ しょうだい)

2017年4月入社、23歳  
奈良県上牧町出身。奈良県立王寺工業高校電気科卒。高校2年生で第2種電気工事士を取得し、「電気っておもしろい」と感じて、株式会社きんでんに入社。今回の金メダルで、同社の技能五輪国際大会での通算メダル獲得数は13個（金11個、銅2個）となった。



## 「悔しい」から始まった 金賞への道

全国障害者技能競技大会（アビリンピック）  
ワード・プロセッサ 金賞  
なんとチャレンジド株式会社  
あんたつ めい  
安達 芽衣さん

### 課題を最後までやり切ることができました。

アビリンピックには4回目の出場でした。和文入力、英文入力、図形・グラフの作成の速さと正確さを競います。過去に銅賞が2度ありますが、ほとんどの人が課題を最後までやり切ることができず、私もそうでした。悔しい思いがあったので、金賞を取ることも、時間内に課題をやり切りたいと思って挑戦しました。

2022年の大会に向けて、オンラインのパソコン教室を受講し、コンピューターサービス技能評価試験ワープロ1級、日本語ワープロ検定初段等の資格を取得し、自信をつけました。

タイピングもより効率よく入力できるように、ホームポジションから打てるように練習をしました。やるだけのことはやったという気持ちで大会に出て、その結果、



全国障害者技能競技大会（アビリンピック）  
パソコンデータ入力 銀賞  
テクノパークぶろぼの大和八木  
いしい いくみ  
石井 郁光さん

### “これが得意”と自信を持つようになりました。

アビリンピックの開催ポスターを見て興味を持ち、今までの訓練で培った力を試したくて、参加しました。県大会で優勝して、県代表として全国大会に臨みました。出場者は30人弱で、「アンケート入力」「文章の間違いを見つけて修正する作業」「エクセルで帳票作成」の3種目でデータ作成の速さと正確さを競いました。競技をやり終えたときは、達成感や手ごたえを大きく感じていましたが、銀賞という結果にはとても驚きました。

ケースワーカーさんの紹介で2021年2月から「ぶろぼの」に通って、パソコン操作の訓練をしてきました。パソコンにデータ等を入力することは、誰でもできることだと思っていたので、自信はなかったのですが、銀賞を受賞してからは、「自分はこれが得意なんだ」とはっきりと言えるようになり、また自分が高いスキルを身につけたことに気づくことができました。アビリンピックへの参加を通して学んだことを活かせる仕事に就くことを希望しています。

今回は最後までやり切ることができました。金賞で名前が呼ばれた時は、とてもうれしかったです。

### 苦手なことにも積極的にチャレンジしたい。

私は高校と奈良県立高等技術専門校でパソコンについて勉強し、卒業したら奈良県内で事務の仕事をしたいという希望がありました。就職先については悩みましたが、私の障害を理解してもらえる職場の方が働きやすいと思い、実習を経て、2018年12月に入社しました。

普段は、データ入力や名刺作成、用度品をピックアップして南都銀行各支店等に発送する準備業務などを行っています。4年が経って、できる仕事が増えてきて、成長してこれたのかなと感じています。

ただ、得意なことと苦手なことの差が大きいため、今後は体力を使う発送準備業務など、苦手なことにも積極的に取り組んでいきたいです。得意なパソコン操作については、「急ぎの仕事は安達さんに」と任されるようになりました。これからも速さと正確さを意識していききたいと思います。



技能五輪全国大会 和裁 銅賞  
大原和服専門学園  
えぞき みき  
江崎 美紀さん

### さらに技術を磨き、1級和裁技能士を目指します。

課題は着物を一から仕上げるというものでした。2日間計9時間の制限時間内に仕上げることに必死でしたが、私が一番大事であり、一番難しいと思っている“まっすぐに縫う”ことは「絶対に手を抜かないぞ」と決めて、時間に追われながらも、曲がったら縫い直すなど、妥協はしませんでした。いかにまっすぐに縫うかで仕上がりが全然違うので、意識してできたことが評価されたのかなと思います。

入賞者の発表のとき、はじめての出場だったので名前を呼ばれるとは思っていませんでした。誰が呼ばれるのだろうと周りを見ていたら、私の名前が呼ばれて「えっ!？」しばらくしてから、「やった!!」と実感が湧いてきました。

高校卒業後の進路に悩んでいたときに、和裁士の仕事を知り、「これだ!」と引き込まれました。和裁は奥が深く難しいですが、今では先生の力を借りずにできることが増え、後輩に教えられるようにもなりました。来年度も研究員として学園にお世話になりながら、和裁技能士の1級を目指します。